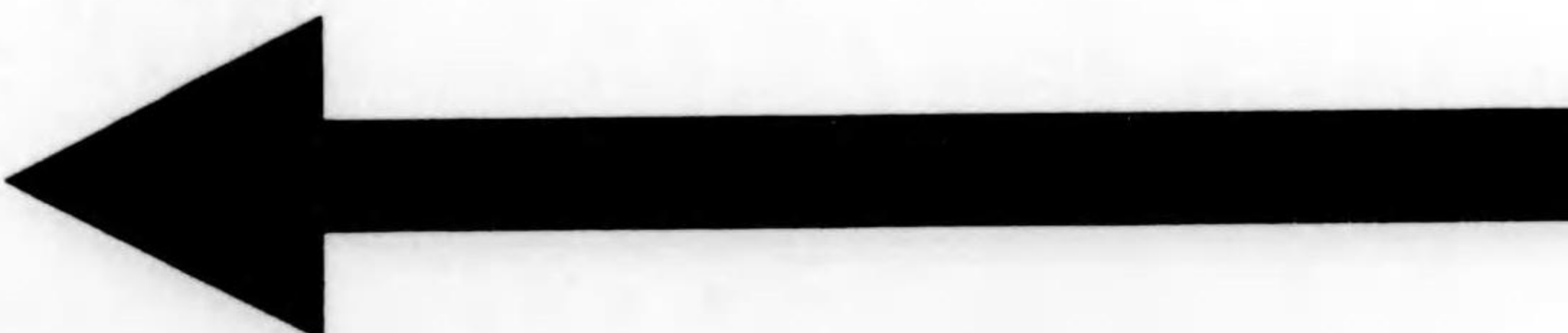
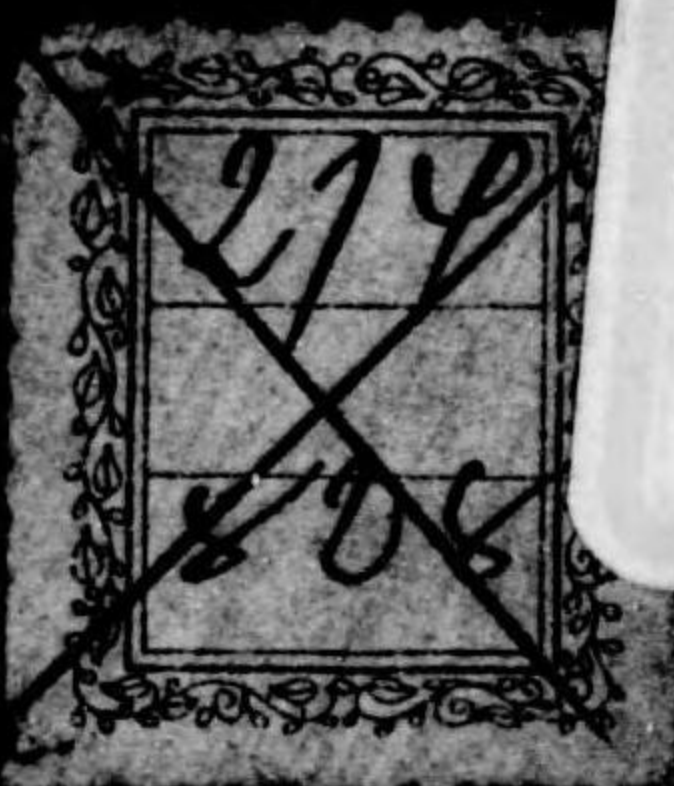


始



特

4



改正下旗片假名符號法詳解

和蘭文可



特  
4

Handwritten text in the gutter, possibly a page number or title, which is mostly illegible due to fading and the angle of the page.

特10  
459

海軍省許可

海軍兵曹長 御園生萬吉著

改正  
手旗片假名信號法詳解

發行所  
軍  
港  
堂

大正

3. 5. 15

丙午

# 改正手旗片假名信號法詳解

## 凡例

- 一 本書ノ目的ハ改正手旗片假名信號法ヲ詳解説述シ以テ手旗片假名信號ニ依ル通信ヲ最モ確實迅速ニ行ハシメ且ツ之ガ教育ノ方法ヲ齋一ナラシムルニアリ
- 二 手旗片假名信號法ノ教練ヲ分テキホンキョーレン基本教練及フーシンキョーレン通信教練ノ二トス
- 三 基本教練ニアリテハゲンクワクケイシヨウ原劃形象、キョウカクシヨウ字劃形象、及キョウキョウシヨウ記號形象ノ構成方ヲ修得セシム
- 四 通信教練ハ基本教練ニ於テ修得セシ諸形象ヲ應用シテ通信セシムルヲ目的トス

第一章 基本教練 ..... 一  
 第一節 通則 ..... 一  
 第二節 手旗諸形象並二構成法說明 ..... 三  
 第一教 原創形象 附濁点形象半濁点形象 ..... 三  
 第二教 片假名形象 附長音形象 ..... 一〇  
 第三教 記號形象 ..... 一七  
 第三節 諸形象構成教練法 ..... 二六  
 第一 原創形象教練法 ..... 二六  
 第二 片假名形象教練法 ..... 二六  
 第三 記號形象教練法 ..... 三〇  
 第二章 通信教練 ..... 三三  
 第一節 通則 ..... 三三

目次

第一章 基本教練 ..... 一  
 第一節 通則 ..... 一  
 第二節 手旗諸形象並二構成法說明 ..... 三  
 第一教 原創形象 附濁点形象半濁点形象 ..... 三  
 第二教 片假名形象 附長音形象 ..... 一〇  
 第三教 記號形象 ..... 一七  
 第三節 諸形象構成教練法 ..... 二六  
 第一 原創形象教練法 ..... 二六  
 第二 片假名形象教練法 ..... 二六  
 第三 記號形象教練法 ..... 三〇  
 第二章 通信教練 ..... 三三  
 第一節 通則 ..... 三三

第二節 交信法

(イ) 起信法 (送信法) ..... 五  
(ロ) 受信法 ..... 五

〔附〕 手旗信號ヲ使用セントスル手段ノ概要

(イ) 手旗信號ヲ爲サントスルトキ ..... 四  
(ロ) 手旗信號ヲ受ケントスルトキ ..... 四

第三節 記號形象應用例

第四節 手旗信號受信法概要 ..... 五

一 記臆受信法 ..... 五

二 二人受信法 ..... 五

三 單獨受信法 ..... 五

備考 手旗片假名信號記號記載法 ..... 五

目次終

改正手旗片假名信號法詳解

第一章 基本教練

第一節 通則

一、手旗片假名形象ハ其基礎ヲ十一個ノ原劃ニ採リ之レヲ種々ニ組合セ  
作爲ス

二、教練ノ初期ニ於テ原劃形象不正ナルトキハ永年間多クハ之ヲ矯正ス  
ルコト困難ナリ故ニ最初ノ教授ニ當リテ最モ注意スルヲ要ス

三、諸原劃形象ハ片假名形象構成ノ基礎ナルヲ以テ常ニ嚴格ナル姿勢ヲ  
失ハシメサルヲ要ス

四、基本教練ノ初期ハ順序的ニ漸ヲ追テ行ヒ狠ニ急進スヘカラス而シテ  
通信教練ニ移リタル後ト雖モ時々基本教練連續法ヲ施行シテ各形象  
構成ノ基礎ヲ鍛練スルト同時ニ惡癖ノ發生ヲ防止スヘシ

五、基本教練ニ於テ惡癖アルモノハ一々其ノ箇所ヲ指摘シテ懇切ニ教示  
 矯正スルヲ肝要トス

六、片假名形象ヲ作爲セントスルニハ手旗ヲ使用スルヲ原則トスルモ若  
 シ之ヲ有セザルトキハ兩手ニ帽、手布等ノ如キモノヲ持チ又ハ赤手  
 ニテモ行フコトヲ得ルモノトス

手旗ノ制式左圖ノ如シ

手 右



縦 約一尺二寸五分 (380<sup>m</sup>/m)

横 約一尺 (280<sup>m</sup>/m)

旗竿(柄)約一尺八寸 (530<sup>m</sup>/m)

柄ノ徑 約六分 (118<sup>m</sup>/m)

柄質 乾燥シタル檜材又ハ竹

手 左



第二節 手旗諸形象並ニ構成法說明  
 第一教 原劃形象 (附)濁点形象半濁点形象

稱名	原劃	姿	原劃
形			
象			
說明	右手ヲ以テ垂下ノ位ニ置キ左方ニシテハ畫ク	兩手ヲ垂直ニ垂ル	不動作ノ姿勢ニ於テ手旗ノ柄端ヲ握リ食指ヲ添ヘ腕ヲ自然ニ伸ハシ手旗ヲ腕ト一線ニアラスシメテ外側ニ接シ手ノ甲ヲ外方ニ向ク
作爲法詳解	左手ハ其儘右手ヲ垂下ノ位ヨリ伸バシタル儘兩足ノ前ヨリ左方ニ廻ハシ上方ヲ經テ一圓ヲ畫キ原姿ニ復ス	爲メ状態及船動搖等ノ爲メ不便トスルトキハ兩足ヲ適宜ノ位置ニアラシムルコトヲ得	但シ高速ノ發信ノ場所ニ於テ是ノ姿勢ニテハ所メテ外方ニ向ク
用途	數字信號ヲ爲スニ用フ	キ	手旗信號ヲ行フト









第二教

片假名形象

(附)

長音形象

片假名字					形象組合順序			組合七所 要ノ原割		母字及 稱		最上欄ノ 片假名ニ 相當スル		備考	
第一動	第二動	第三動													
イ(キ)	/				三、二、	A	母字(羅馬字)信稱ヲ爲サ ントスレトキハ第二教記 號形象中母字形象ノ説明 要領ニ從ヒ以下亦全シ								
ロ	一				七、八、										
ハ	二	ハ			六、	C									
ニ	一				二、三、十	D									
ホ				ハ											

イ(オ)	ル	メ	リ	ナ	ト	ハ
一	/	フ		L		\
フ	L	\			、	
一、九、	三、七、	九、四、		七、三、	二、五、	四、
J		H	G	F		E
	(濁点形象ニテ Iヲ表ス)		第二原割ヲ左右兩手ヲ以 テ一動ニ行フ	第二動ハ必ず左手ニテ行 フ		



ヴ	ヰ	ヱ	ユ	キ	ナ	フ
フ	ニ	ノ	フ	ニ	一	フ
レ	一	、	一	一		ノ
五、六	六、二	三、五	九、一	六、二	第二原則 一、ナ兩手ニ テ行フ	九、三
W	X					
					第二動ハ第二原則ヲ左右 兩手ヲ以テ同時ニ行フ	

テ	ニ(エ)	コ	フ	ケ	マ	ヤ
ニ	一	レ	フ	レ	フ	レ
ノ	一	一		ノ	、	レ
	一					
六、三	一、二、一	八、一	九、	七、三	九、五	八、四
			Z	Y	X	W

第三教 記號形象

起*	信シ	名稱
		形
		象
<p>起ノ同手者                  信ニ並ニ行                  上ニ下ニ                  振ルコト</p>		說明
<p>兩手伸バシメ                  儘直ニ置                  運ビ直ニ                  ナ前直ニ                  レ角五ニ                  ノ方十度                  シ此間並                  上下振ル                  上ニ下ニ                  回スルコト                  原任ニ復                  ハ意ノ原                  リ直チニ                  復スルニ                  但シテ上                  ノ齊ニ動                  ノ齊ニ作                  原一ニス                  ハ兩手                  ニ位置                  位置                  タル</p>		作為法詳解
<p>此形象ハ起信者                  號キ爲サント                  トキ受用者ト                  爲メニ信者ト                  ニシテ見ルマ                  信シテ行フ                  之レヲ</p>		用途

一(長音)	シ	寸(ス)	セ	モ	ヒ
一	、	一	フ		一
	一	一	LL	LL	LL
		、			
二、	五、一	一、二、五	九、七	六、七	一、七
<p>長音形象ハ左ノ適合等ニ                  使用ス                  (例) 「ロウ」「ラウ」「ラフ」「ハ」「ロー」                  「トウ」「タウ」「タフ」「ハ」「トロー」                  「ニョウ」「ニョウ」「ニョフ」「ハ」「ニョロー」                  「チヤウ」「チヤウ」「チヤフ」「ハ」「チヤロー」</p>					

(信シ 受ジ) 信シ 解カ



回コニ儘行上垂兩受  
スト振左セゲ直手信  
數ル右ル非ニチ者

復路テハヨリ圖上ナリ左左垂レニシ伸ル兩ル行五五之直ル兩  
スチモ何始ル動シ始右右直ニ振クバト手コノ度度レノ儘手  
經差レメタ作トム何レニ反ル曲シキチト儘トトナ位前チ伸  
テ支ノ終メノ雖ルレ振位ストゲ右ハ左數左ノ右左置方ヨシ  
原ナ位ル左齊モモヨル置キ又臂左方回右間方方運リシ  
姿ク置ト方一教妨リニヨハ右ハ臂ニスニチテ振振並十十ビ垂  
ニ捷ニキ日チ練ゲ振

トテ信ニ示ナ於此  
ス之形シス了テ形  
レ象テニ解起象  
チチ起用セ信ハ  
行止信フル者受  
フム者ルコノ信者  
モルノモト信者  
ノマ終ノチ號ニ

信シ 終シ 信シ 應シ



揚垂兩起  
グ直手信  
ニチ者



數ル下交兩應  
回コニ々手信  
スト振上チ者

動ハ原向手肩直ル兩  
作之姿クノ幅ノ儘手  
チレニ復チ保置方伸  
行ト復ス外チ運リシ  
フ反對ルニ兩ビ垂

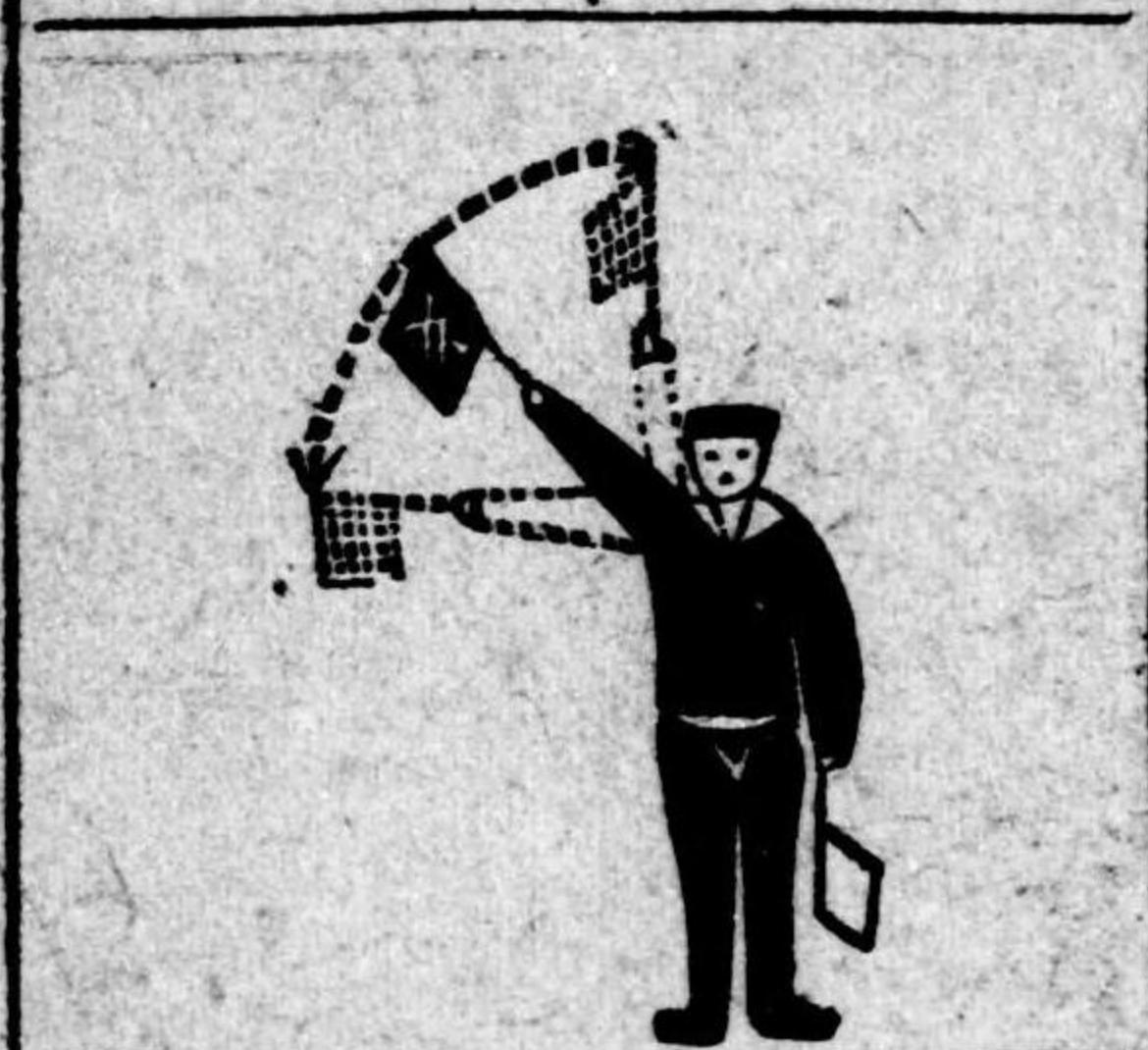
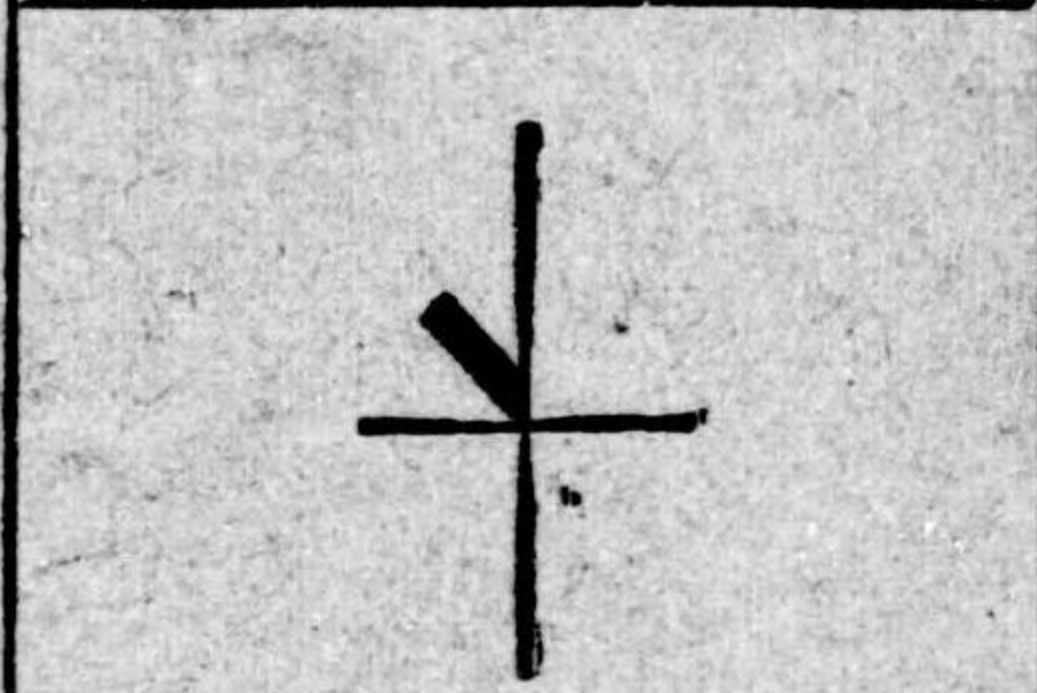
シ形解ノチ號此  
置象信ニ示チ形  
クチ形シス終象  
モ見象テニリハ起  
ノル象又受用ル者信  
トマハ信者フルコト  
ステ消者ルモト

タノ但振シハ原回下ルテ俯トル兩  
右齊シリテ兩姿スニ如面角前儘手  
手一教下元手ニ復ル交互交間十ノ伸  
ヨチ練スノチ相スコトニ又ニ度位シ  
リ圖上位置前ルニ後ニ數上ス於ノ置  
始ル働ニ後ニ

モルノモスナ爲已此  
ノマ起ノルススレ形  
トア信ニト起タニ象  
ス之形シキ信メ向ハ起  
レ象テニ形起テ信者  
チチ起用象信者號  
行止信ユルニ者ノチ  
フム者ル應ノチ



信消讀句 讀句



回コニナリ位シ象句  
スト振左右置其ヲ讀  
數ル右手ヨノ示形

下之直ヲノ受ニノ十右右起  
スレチ見應信揚仰五方手信  
チニバ答者ゲ角度四チ者

元キ原ナルテキ手スニ示先  
ノハ姿スト水ハチ振シツ  
姿捷ニキ平臂右ル之句  
勢路復ハニチニコレ讀  
ニチス垂左伸振トチ形  
復經ル直ニバル數左象  
ステニ振シト回右チ

作ハ原一牛  
チ前姿ノ濁点  
行トニ動動作形  
フ反復作象  
對スチ象  
ノル行ト  
動ニフ同

フタル者チ又見一ニ線其句此  
ト取之示起ル形用返句切象ハ  
キ消シレシ信迄ハ象ヒス切チ象  
用シキレシ者者行以テ受コノ取  
フ再消シ其者了ルモ受者ト始消  
送再消シ其者了ルモ受者ト始消  
チ再消シ其者了ルモ受者ト始消

コマ起受テ象テスト合ハ於此  
トテ信信示シ者示者ニ置クモ  
チ者者者者者者者者者者者者  
チ者者者者者者者者者者者者  
チ者者者者者者者者者者者者

信消



回コ又方レ出仰五前左兩  
ストスニチシ角度四右手  
數ル交前之ニノ十斜チ

スナルハ原左齊モス何交伸解臂交ルチ此度ヨル兩  
經位交姿手一教ルレ又バクチ又コ面位ノリ儘手  
テ置又ニチチ練モノスシニ曲スト前置仰斜足チ  
原ヨチ復上圖上妨手ル又ハゲル數ニヨ角前尖伸  
姿リ解スニル動ケチト兩兩交ニ回交リ二四ノバ  
ニ捷キルスタ作ナ上キ手臂又ハス又兩運十方シ  
復路タニメノキニハチチチ兩ス手ビ五向ダ

トノハチ信チトテ信受起信ン(始ルメ儘信チ誤ニ此  
キ再終消形要求(送不者信信トメヨ止號ナ在ノ形  
ニ送信信象求(送不者信信トメヨ止號ナ在ノ形  
用チノチチ示ルニ部要ノ在チ行シ更ハ消セ  
フ要后ナ示ルニ部要ノ在チ行シ更ハ消セ  
求其ス)テハ再終送ルリ受



備考 暑語形象及讀点(コンマ)ハ受信者同一形象ヲ示シテ應ズルコトナシ

点 <sup>ナシ</sup> (マシコ)	象 <sup>シヨウ</sup> 形 <sup>ケイ</sup> 語 <sup>ゴ</sup> 略 <sup>リョク</sup>
出俯五方手垂左起 ス角度四ヲレ手信 ニノ十右右ヲ者	回トスニヲレ置度四右手先 スール交下之ニノ十下ヲツ ニコ又方レ垂位五方左兩
動ハ原方シ五ナ左 作之姿ニテ度以手 ナレニ向手ノテハ 行ト復クノ俯右其 フ反スル甲角方儘 ソニ外出手十手	方シタ作トス手ニ一ニシ形 ニテメノ雖ルノ復二交兩象 向手左齊モモ何ス回又膝ノ クノ手一教妨レ交シスノ位 甲ヲチ練ゲチ又テル中置 チ前圖上ナ前ハ原コ央ニ括 前ニル動シニ兩姿ト前出弧
点アルト示スキニ用フ ナルト示スキニ用フ	此ノ形象ハ信號ノ 後中間モ略レノ 於テモ略レノ 用ヒテスルニ 其ノ語ノ前後 爲サニ略スル 又單ニ略スル 用スルノ語ノ 其ノ語ノ前後 使ノサニ略スル 又單ニ略スル 用スルノ語ノ 其ノ語ノ前後

弧 <sup>コ</sup> 括 <sup>クワツ</sup> 小 <sup>コ</sup>	弧 <sup>コ</sup> 括 <sup>クワツ</sup>
ナニバ答着シ平左左起 下之直チノ受ニ方手信 スレチ見應信出水者	下之直チノ受ニノ十下左兩 スレチ見應信垂俯五方右 チニバ答者レ角母四ノチ
キ原フ左手右 亦姿手ハ手 同ニノ第ハ其 シ復動作原ノ スルチ作劃儘 ト行ノ左	働ハ原ニシ玉兩 作之姿向手度手 チレニクノノチ 行ト復ス甲俯左 フ反スルチ角右 ソニ外方出十
電ル一ニ後ン信信此 但クヤ形シト號號ノ シモテ象テ使用ス符中形 モ海ノ之ヲ受用スル字ニ象 亦陸トレ以信ストチ萬ハ 可軍スチテ者ルキ挿國片 ナ等示應ノモ其入船假 用ノシ全ノ前セ	示ヲ受用ル本ザ又挿信此 シ以信フト括ルハ入號中形 置テ者ルキ弧片暗セシ象 ク應ノモ其内假號ト暗ハ モス全ノノニ名文ト暗ハ ノル一ノ前挿信ニスル片 トマ形シ後入號アル文假 ステ象テニスチラ名

第三節 諸形象構成教練法

手旗諸形象教練ヲ行フニハ練習者ノ數ニ應シ成ルヘク單列ニ配置シ教授者ノ視界ヲ狹少ナラシメ些少ノ不正モ之ヲ忽諸ニ附セス嚴密ニ矯正スヘキモノトス

第一 原劃形象教練法

一、原劃形象教練ハ第一章第二節第一教ニ示ス諸形象構成法ノ要領ニ從ヒ作爲スルモノニシテ單ニ原劃ノミヲ書カシメ一個ノ原劃ハ二動(第十一原劃ハ三動)ヲ以テ行フ其ノ要領左ノ如シ

(注) 基本教練ヲ行フニ當リ教授者ノ摸範ヲ示スハ練習者ニ正面シテ行フヲ例トスルモ初學者ノ示範ニ對スル識別ヲ容易ナラシムルタメ時々練習者ト同方向ニ即チ教授者ハ自己ノ背部ヲ練習者ニ向ケ摸範ヲ示スモ亦可ナリ

(イ) 第一原劃ヲ書カシムルニハ原劃教練ヲ行フト告諭シ「一」ト號令シ

兩手ヲ水平ニ伸バシタル位置ヲ第一動トシ原姿ニ復シタル位置ヲ第二動トス「原姿」ト號令ヲ下シテ原姿ニ復ス(以下之ニ準ス)

(ロ) 第二原劃第三原劃第四原劃第五原劃第六原劃第七原劃第八原劃第九原劃第十原劃ノ各動作モ亦第一原劃ノ動作ニ準ス但シ告諭ハ最初ノ一回ノミニ下シ他ハ之ヲ省略ス

(ハ) 第十一原劃ヲ書カシムルニハ「十一」ト號令シ兩手ヲ伸バシテ左方四十五度ノ仰角ニ上ゲタル位置ヲ第一動トシ此レヨリ右方四十五度ノ俯角ニ振リ下シタル位置ヲ第二動トシ原姿ニ復シタル位置ヲ第三動トス「原姿」ノ號令ヲ下シテ原姿ニ復ス

(ニ) 同一原劃ヲ連續書カシムルニハ一原劃毎ニ原姿ノ號令ヲ下スコトナク各原劃舉動ヲ稱ヘ動作ヲ止メントスル最後ノ一動ノミ「原姿」ト號令ヲ下スモノトス

二、原劃形象ヲ書カシムルニ舉動ヲ附シ行ハントセハ「原劃教練ヲ行フ

舉動ヲ附ス」ト告諭シ第一原劃ヨリ順次ニ作爲セシム而シテ各原劃ヲ會得シタルトキハ任意ノ原劃ヲ作爲セシメ以テ記憶ヲ促進セシムルモノトス

三、原劃形象ヲ書カシムルニハ一ツノ原劃ヲ作爲シ直ニ原姿ニ復シ行フト雖モ各原劃ヲ記憶シ得タルトキハ原姿ニ復スルコトナク一ツノ原劃ヨリ直ニ他ノ原劃ニ移ラシメ片假名形象構成ノ準備教練ト爲サシム可シ

第二 片假名形象教練法

一、片假名形象教練ハ第一章第一節第二教片假名形象表ノ示ス所ニ從テ各片假名形象及長音形象ヲ作爲セシメ之ガ教練ノ方法ハ原劃形象教練法ニ準ス

二、片假名形象ヲ書カシムルトキ左足ヲ約四十珊（一尺三寸）左方ニ開カシメテ行フニハ「用意」ノ號令ニテ開キ「止メ」ノ號令ニテ動作

ヲ止ムルト同時ニ左足ヲ舊位ニ復ス

三、一字ヲ作爲スルニ二個若クハ三個ノ原劃組合セラ要スルモノハ第一動ノ原劃ヲ示シタルトキ原姿ニ復スルコトナク直チニ第二動第三動ノ原劃ニ移リ一字書ヲ作爲シ終ハリテ原姿ニ復スルモノトス

四、片假名形象ヲ構成セシムルニハ教練ノ初期ニ在リテハ緩速度ニ行ヒ漸ク進ムニ從ヒ急速度ニ行ハシメ以テ通信教練ノ準備教練ト爲サシム

五、原劃又ハ片假名形象等ヲ書クニ舉動ヲ附シ呼稱セシムルニハ「何々

教練ヲ行フ呼稱ヲ唱へ」ト告諭シ各動作毎ニ（ウ）ノ字ヲ書クニハ一呼稱セシム而シテ動作中呼唱ヲ止メシムルニハ「呼稱止メ」ト令シ再ヒ呼稱セシムルニハ「呼稱唱へ」ト令ス但シ連續行フトキハ最初「何字」

連續行フト告諭シ置クモノトス又動作中練習者ノ呼稱ヲ止メタル間ハ動作ノ齊一ヲ圖ルタメ時々教員自ラ呼稱スルヲ要ス

六、濁点形象ヲ書カシムルニハ「濁点」ト號令シ左手ヲ伸バシテ左方四

十五度ノ仰角ニ上ケ「原姿」ノ號令ヲ下シテ原姿ニ復ス  
七、半濁点形象ヲ書カシムルニハ「半濁点」ト號令シ右手ヲ伸シテ右方四十五度ノ仰角ニ上ケ「原姿」ノ號令ヲ下シテ原姿ニ復ス

第三 記號形象教練法

一、記號形象教練ハ第一章第二節第三教ノ説明要領ニ從ヒテ作為セシメ又之レガ教練ノ方法ハ原劃形象教練法ニ準ス

- (イ) 起信形象ヲ書カシムルニハ「起信」ト號令シ兩手ヲ伸ハシテ垂直ニ上ケタル位置ヲ第一動トシ同時ニ前方五十度ノ俯角ニ振り下シタル位置ヲ第二動トシ連續之ヲ行ヒ「原姿」ノ號令ヲ下シテ原姿ニ復ス
- (ロ) 應信形象ヲ書カシムルニハ「應信」ト號令シ兩手ヲ伸ハシテ右手ヲ垂直ニ上ゲタル位置ヲ第一動トシ右手ヲ下シ左手ヲ垂直ニ上ゲタル位置ヲ（兩手ハ前面ニ於テ行違フ如クス）第二動トシ連續之ヲ行ヒ「原姿」ノ號令ヲ下シテ原姿ニ復ス

- (ハ) 終信形象ヲ書カシムルニハ「終信」ト號令シ兩手ヲ伸ハシテ垂直ニ上ゲ「原姿」ノ號令ヲ下シテ原姿ニ復ス
- (ニ) 解信形象（受信形象）ヲ書カシムルニハ「解信」（受信形象ノ語ヲ用ユルトキハ「受信」）ト號令シ兩手ヲ伸ハシテ垂直ニ上ゲシメ之ヲ左方ニ振りタルヲ第一動トシ右方ニ振りタルヲ第二動トシ連續之ヲ行ヒ「原姿」ノ號令ヲ下シテ原姿ニ復ス
- (ホ) 消信形象ヲ書カシムルニハ「消信」ト號令シ兩手ヲ伸ハシテ左右斜前四十五度ノ仰角ニ出シ之ヲ前方ニ交叉シタル位置ヲ第一動トシ更ニ左右ニ開キタル位置ヲ第二動トシ連續之ヲ行ヒ「原姿」ノ號令ヲ下シテ原姿ニ復ス
- (ヘ) 句讀形象ヲ書カシムルニハ「句讀」ト號令シ右手ヲ右方四十五度ノ仰角ニ上ゲ「原姿」ノ號令ヲ下シテ原姿ニ復ス
- (ト) 句讀消信形象ヲ書カシムルニハ「句讀消信」ト號令シ先ツ句讀形

象ヲ示シ之ヲ左方ニ振りタル位置ヲ第一動トシ右方ニ振りタル位置ヲ第二動トシ連續之ヲ行ヒ「原姿」ノ號令ヲ下シテ原姿ニ復ス

(チ) 新章形象ヲ書カシムルニハ「新章」ト號令シ右手ヲ伸バシテ垂直キ左手ヲ左方水平ニ同時ニ出シ「原姿」ノ號令ヲ下シテ原姿ニ復ス

(リ) 新章消信ヲ書カシムルニハ「新章消信」ト號令シ先ツ新章形象ヲ示シ左手ハ其儘右手ヲ其位置ヨリ左方ニ振りタル位置ヲ第一動トシ右方ニ振りタル位置ヲ第二動トシ連續之ヲ行ヒ「原姿」ノ號令ヲ下シテ原姿ニ復ス

(ヌ) 數字形象ヲ書カシムルニハ「數字形象」ト號令ス其動作ハ濁点形象ニ準ス

(ル) 母字形象ヲ書カシムルニハ「母字形象」ト號令シ右手ヲ右方水平ニ左手ヲ伸ハシテ垂直ニ同時ニ上ゲ「原姿」ノ號令ヲ下シテ原姿ニ復ス

復ス

(ヲ) 括弧形象ヲ書カシムルニハ「括弧」ト號令シ兩手ヲ左右四十五度ノ俯角ニ出シ「原姿」ノ號令ヲ下シテ原姿ニ復ス

(ワ) 小括弧形象ヲ書カシムルニハ「小括弧」ト號令シ左手ヲ左方水平ニ出シ「原姿」ノ號令ヲ下シテ原姿ニ復ス

(カ) 略語形象ヲ書カシムルニハ「略語形象」ト號令シ兩手ヲ左右四十五度ノ俯角ニ出シ之ヲ中央ニテ交叉シタル位置ヲ第一動トシ再ビ左右ニ開キタル位置ヲ第二動トシ一二回之ヲ行ヒ「原姿」ノ號令ヲ下シテ原姿ニ復ス

(ヨ) 讀点ドクテン(コンマ)形象ヲ書カシムルニハ「讀点」ト號令シ右手ヲ右方四十五度ノ俯角ニ出シ「原姿」ノ號令ヲ下シテ原姿ニ復ス

第二章 通信教練

第一節 通則

一、通信教練ノ目的ハ基本教練ニ於テ修得シタル片假名形象及諸記號形象等ヲ實地通信ニ行フモノニシテ海陸何レノ場所ヲ問ハス相互ノ距離相隔絶セル場合ニ於テ言語ヲ用ヒス專ラ手旗信號ニ依リ彼我ノ意思ヲ疏通セシムル手段ノ訓練ナリ而シテ相互間ノ距離ノ遠近天候ノ模様及手旗ノ大小色合ノ良否等ハ直接通信上ニ多大ノ影響ヲ及ボスモノナルヲ以テ常ニ適切ナル訓練ヲ施シ之ヲ補ハントスルコトヲ銘記スルヲ要ス

二、通信教練ノ初期ニ在リテハ練習者ヲ一列若クハ數列ニ排列セシメ教員自ラ簡易ナル短文ノ信號ヲ送リテ受信セシメ漸ク進ムニ從ヒ稍々繁雜ナル(要スルトキハ句讀形象ヲ使用ス以下ノ場合亦同シ)信文ヲ送リテ受信セシメ以テ受信力ヲ促進セシムルヲ要ス

三、前項ノ方法ニ依リ行フヲ終リタルトキハ近距離ニ於テ練習者ヲ二分シ之ヲ適當ノ位置ニ配シ各對者ヲ定メ口頭ニ依リ適當ナル送信文ヲ與

ヘ之ヲ送ラシメ受信者ヲシテ之ヲ照校セシメ(此ノ場合ノ照校トハ起信者ヨリ送リタル信文ヲ其ノ儘送り返スル)受信ニ誤謬ナキヤヲ確カメシム又時々對者ト任意交信ヲ爲サシメ疑義ノ点等ヲ適宜ニ反問解決セシムル等ノ教練法ヲ執ルヲ要ス但シ各組ノ員數ハ其ノ教育ノ狀態ニ依リ二人或ハ三人ヲ一團トナスモ亦可ナリ

四、近距離ニ於テ一人ノ練習者ヲ起信者ト定メ發信スヘキ信文ヲ送ラシメ他ノ練習者ヲシテ之ヲ受信セシメ終リニ教員ハ各受信者ニ就キ受信ノ正否ヲ檢シ輪番之ヲ行ハシメ以テ進歩ノ速達ヲ圖ルヲ要ス

但シ信號ハ短文ヲ選ミ又起信者タル練習者ノ任意タラシムルモ亦可ナリ

五、近距離ニ於ケル練習漸ク進ムニ從ヒ練習者ヲ遠距離ニ分チ相互各員交番ニ送信セシメ起受兩信法ニ習熟セシムルヲ要ス

六、凡テ通信教練ハ之ヲ實地ニ應用スヘキ方法ナルヲ以テ終始實際的觀



念ヲ抱カシメ場所ト時間ノ許ス限リ或ハ背後ノ見透シヨキ或ハ然ラサル位置ヲ選ミ或ハ側面背面或ハ斜向ニアル受信ヲナサシメ以テ實用ニ臨ミ遺憾ナカラシメンコトヲ期セサルベカラズ

第二節 交信法

(イ) 起信法(送信法)

- 一、信號ヲナサントスルトキハ先ツ受信者ヨリ見得易キ位置ヲ選ミ受信者ノ應信形象ヲ見ルマテ起信形象ヲ振ルモノトス
- (備考) 受信者ノ注意ヲ促ス爲メ旗旒ヲ揚クルカ又ハ音響ヲ發スル等ノ手段ヲ執ルコトハ各其規定若クハ彼我ノ約束ニ

(ロ) 受信法

- 一、起信者カ己レニ向テ信號ヲナス爲メ起信形象ヲ振ルヲ認ムルトキハ直チニ受信ノ準備ヲナシ之レニ對シ應信形象ヲ振り起信者ヨリ送り來ル信號ニ注目ス

從フ

- 二、受信者ノ應信形象ヲ示スヲ見ハ直ニ前章ニ示セル片假名形象構成法ニ從ヒ片假名字ヲ作爲シ言語ヲ連テテ意思ヲ通スルモノニシテ所要ノ信號終ラバ終信形象ヲ振リテ之ヲ表示ス
- 終信形象若ハ受信者ノ解信形象(受信形象)若ハ消信形象ヲ示スヲ見ルマテ之ヲ保持ス

三、起信者或ル字ヲ作爲シ終ルト

二、起信者ノ連續ナス信號ヲ一字

- ツツ讀ミテ信號ノ解讀ニ努メ起信者ノ終信形象ヲ見タル後チ其信號了解セハ解信形象(受信形象)ヲ振リ若シ了解セサルトキハ消信形象ヲ振リ全部ノ繰返シヲ要求スヘシ
- 又信號ヲ了解シ受信形象ヲ示シタル後チ其返信ヲナサントスルトキハ直チニ起信法ノ欄ニ示ス要領ニ準ジテ返信ス

三、受信中不明ノ字ヲ發見スルカ

同時ニ受信者ニ於テ消信形象ヲ振ルトキハ其一字ノミヲ取消シタルモノナルヲ以テ起信者ハ其取消ニ對シ消信形象ヲ振リタル字ヨリ繰返シ送信ス

四、起信者送信中誤字脱字等ノ訂正ヲナサントスルニハ前項ニ準シテ消信形象ヲ振リタル後チ受信者ノ同一形象ヲ見テ之ヲ訂正繰返ス  
五、信文ノ長キ信號ハ之ヲ數句ニ分チ一句毎ニ句讀形象ヲ挿入シテ之ヲ表示ス

六、受信者カ句讀形象ヲ示スヲ見バ直ニ次句ノ信號ニ移ル  
若、句讀消信ヲ爲スヲ見バ已レモ亦句讀消信ヲナシ最初ノ一句ナレバ更ニ起信形象ヨリ始メ第二句以下ナルトキハ句讀消信ヲナシタル後チ再ヒ句讀形象ヲ示シ前一句ノ了解セルヤ否ヤヲ確メタル後チ其次ノ句ヲ繰返ス  
七、一回ノ信號ヲ數項ニ分チ送信

若クハ自己ニ於テ誤讀シタルトキハ直チニ消信形象ヲ振リ其ノ繰返シヲ要求スベシ

四、受信中起信者ノ消信形象ヲ見バ已レモ亦起信者ト同一形象ヲ振リテ之ニ應シ起信者ノ繰返シ來ル信號ニ注目ス

五、起信者カ句讀形象ヲ示シタルトキ其句ヲ了解セバ已レモ亦句讀形象ヲ示シテ其了解ヲ表示ス

若シ了解セサルトキハ句讀消信形象ヲ振リ其ノ句ノ繰返シヲ要求ス

六、起信者句讀消信ヲ爲シ更ニ起信形象ヲ振ルトキハ應信形象ヲ示シテ答へ又起信者句讀消信ノ後チ再ヒ句讀形象ヲ示スヲ見ハ已レモ亦句讀形象ヲ爲シテ前句ノ了解セルコトヲ示シ次ニ送り來ル信號ニ注目ス

七、起信者カ新章形象ヲ爲スヲ見

セント欲スルトキハ毎項ノ終ヲ  
ニ新章形象ヲ挿入ス

八、受信者ノ新章形象ヲ爲スヲ見

ハ次項ノ信號ニ移ル

若シ新章消信ヲ見バ己レモ亦新  
章消信ヲ爲シ信號ノ發端ナルト  
キハ更ニ起信形象ヨリ始メ第二  
項以下ナルトキハ再ヒ新章形象  
ヲ爲シ前項ノ了解セルヤ否ヤヲ

確ムルコト句讀形象ヲ用フル場

合ノ方法ニ同ジ

九、送信中ノ信號全部ヲ取消シ更

ニ其發端ヨリ繰返サントスルニ  
ハ消信形象ヲ振リ更ニ起信形象  
ヨリ繰返ス

若シ信號全部ヲ取リ消シ其ノ儘  
取リ止ムルニハ消信形象ニ次キ  
終信形象ヲ振ル

一〇、送信中受信者終信形象ヲ示  
シ次テ消信形象ヲ示スヲ見バ己  
レモ亦消信形象ヲ示シタル後チ  
起信形象ヲ爲シ其信號ノ發端ヨ

四〇

其項ヲ了解セバ己レモ亦新章形  
象ヲ示ス

若シ了解セサルトキハ其項ノ一  
句ナレバ句讀消信ヲ又其ノ項ノ  
全体ナルトキハ新章消信ヲ表示  
シテ之ガ繰返シヲ要求ス

八、起信者新章消信ヲナシ更ニ起

信形象ヲ振ルヲ見バ應信形象ヲ  
表示ス

若シ起信者新章消信ニ次テ新章  
形象ヲ示サバ己レモ亦新章形象  
ヲナシ前項ノ了解セルコトヲ示  
シ次ニ來ルベキ信號ニ注目ス

九、受信者其全部ノ信號ヲ取リ消

シ更ニ其發端ヨリ繰返シヲ要求  
セントスルニハ終信形象ヲ示シ  
次ニ消信形象ヲ振ル

一〇、起信者ニ於テ消信形象ノ後  
チ起信形象ヲ示サバ應信形象ヲ  
振リ起信者ノ繰返信號ニ注目ス

四一

ヲ繰返スルモノトス  
 【注意】眼鏡ヲ使用シツ、送信ス  
 ルトキハ勿論眼鏡ヲ要セサル巨  
 離ニ於テ送信スル場合ニハ其間  
 始終受信者ニ注目シ受信者ニ於  
 テ消信形象等ヲ振りタルトキハ  
 直ニ之ニ應スルコト肝要ナリ

【附】

- 手旗信號ヲ使用セントスル手段概要左ノ如シ
- イ) 手旗信號ヲ爲サントスルトキ
  - 一、發信文ヲ記憶シ置キ送信スル  
コト
  - 二、發信文ヲ黑板又ハ紙片等ニ記

- ロ) 手旗信號ヲ受ケントスルトキ
- 一、起信者ノ送ル信號ヲ受信者逐  
一記憶スルコト
- 二、發信者一ツノ句讀ヲ示シタル

載シ置キ信文ノ一句宛ヲ記憶シ  
 置クカ又ハ更ニ小部分ニ見ツ、  
 送信スルコト但シ風雨雪等アリ  
 テ右ニ依ルヲ得サル場合ハ二人  
 ニテ行ヒ其一人ハ發信文ヲ讀ミ  
 他ノ一人ヲシテ信號ヲ行フコト  
 アルベシ

三、二人ニテ送信ニ従事スルトキ  
 ハ第二項但書ノ要領ニ從ヒ行フ  
 カ又ハ發信文ヲ見ツ、適宜ノ所  
 ニ句讀ヲ置キテ行フ但シ遠距離  
 等ニシテ望遠鏡等ヲ要スル場合  
 ハ一人ハ望遠鏡ヲ把持シ受信者

トキ其信號了解セバ之ヲ記憶シ  
 置クカ又ハ黑板等適當ノモノニ  
 記シ其句等ノ終リタルトキ句讀  
 形象ヲ示シ如斯漸次終信ニ至ル  
 コト

三、一人ハ手旗ヲ把持シ起信者ノ  
 信號ヲ讀ミ他ノ一人ヲシテ之ヲ  
 筆記セシム但シ望遠鏡ヲ要スル  
 トキハ一人ハ之ニ依リテ信號ヲ  
 視讀シ他ノ一人ヲシテ手旗ヲ把  
 持シ讀ミタル信文ヲ筆記セシム

ノ應信、消信形象其他ノ動作ヲ  
注視セシム

四、筆記ヲ要スル信文ヲ送信スル  
ニ際シ受信者一人ナリト推定セ  
バ受信者ノ應信形象ヲ見タル後  
チ筆記ニ要スル（要スルトキハ  
望遠鏡ノ準備）適當ナル間隙ヲ  
與へ（句讀等ヲ置ク場合ニハ之  
ニ要スル相當間隙）タル後チ送  
信スルモノトス

四、發信者ノ已レニ向テ起信セル  
ヲ見バ（殊ニ望遠鏡ヲ要スル場  
合等ニハ成ル可ク迅速ニ）直ニ  
受信準備ヲナシ先ツ應信形象ヲ  
振り其終ルト同時ニ望遠鏡ヲ持  
ツカ若ハ筆記具ヲ執リテ起信者  
ノ信號ヲ視讀シ其終リ若クハ一  
句讀毎ニ筆記シタル後チ句讀形  
象若ハ解信形象（受信形象）ヲ表  
示ス

五、遠距離若ハ晴天ナラサル場合

等ヲ在テ信號ニ從事セルモノ三  
人ナルトキハ一人ハ望遠鏡ニ依  
リ起信者ノ送ル信號ヲ視讀シ一  
人ハ手旗ヲ把持シ應信形象等ニ  
他ノ一人ハ筆記ニ從事ス

六、第一項ノ場合ノ外ニ單獨受信  
法トシテ發信者ノ送信文ヲ擬視  
シツ、一字毎ニ自ラ筆記スル方  
法アリ而シテ此法最初ハ稍ヤ困  
難ヲ感スルモ少シク練習ヲ爲ス  
トキハ受信時間ヲ短縮スルコト  
二人受信ニ比シ約半減シ得ルト  
同時ニ地方ノ訛言ヲ避ケ且ツ送

信ヲ確實ニ爲シ得ル諸種ノ利便アリ

第三節 記號形象應用例

(イ) 數字形象一名 (白旗)

片假名信號中ニ數字ヲ插入セントスルニハ數字形象ヲ表示シ受信者ノ同一形象ヲ示スヲ見タル後チ行フモノニシテ數字ヲ插入シ終ラハ再ヒ數字形象ヲ示シ受信者ノ同一形象ヲ爲スヲ見テ次ノ信號ニ移ルモノトス

數字ハ零原劃ヨリ第九原劃ニ至ル原劃形象ノ番號ニ相當スル數字ヲ以テ解讀セシム故ニ「十」若ハ「十一」ノ數ヲ示スニハ第十原劃又ハ第十一原劃ヲ用ヒスシテ「一〇」「一一」ヲ以テス

〔例一〕「發射彈數十、命中彈數九」ナルコトヲ信號スルニハ

「ハツシヤタ濁点ンスー數字一零數字メイチユー濁点ー數字タ濁点ンスー數字九數字」

〔例二〕「見學ノ學生ハ百二十名ニ改ム」ナル信號ヲナスニハ

「ケンカ濁点クノカ濁点クセイワ數字一二零數字ニアラタム」

(ロ) 母字形象

片假名信號中ニ母字 (羅馬字) ヲ插入セントスルニハ母字形象ヲ示シ受信者ノ同一形象ヲ示スヲ見タル後チ行フモノニシテ母字ヲ插入シ了ラハ再ヒ母字形象ヲ示シ受信者ノ同一形象ヲ示スヲ見ハ次ノ句ニ移ルモノトス

此ノ場合片假名形象ニシテ母字名稱ヲ有スルモノハ凡テ母字ニ解讀スヘキモノトス

〔例一〕「難破船ハ本船ノSEノ方位ニアリ」ノ信號ヲナスニハ

「ナンハ半讀点センワホンセンノ母字ラヘ母字ノホーイニアリ」

〔例二〕「學生ノ携帶品ニSUTOト記シアリ」ヲ信號スルニハ

「カ濁点クセイノケイタイホンニ母字ラウムレ母字トシルシアリ」

(ハ) 括弧

片假名信號中ニ括弧内ニ入ルヘキ信文(電信電話等ノ符號)ヲ挿入セントスルニハ括弧形象ヲ表示シ受信者ノ同一形象ヲ示スヲ見タル後チ行フモノニシテ所要ノ形象ヲ挿入シ終ラハ再ヒ括弧形象ヲ示シ受信者ノ同一形象ヲ示スヲ見テ次ノ信號ニ移ルモノトス

〔例一〕「戦況詳カナラサルモ今朝ノ電報ニ(チホラ)トアリ」ヲ信號

スルニハ(チホラ)ハ當事者ニテ定メタル特約暗號ナリ

「センキョーツマヒ濁点ラカナラサ濁点ルモコンチョーノテ濁点ニ括弧チホラ括弧トアリ」形象

形象チホラ括弧トアリ

〔例二〕「明日第三中學校ニ於ケル講演者ハ(ウルサ)氏ナリ」ヲ信號

スルニハ(ウルサ)ハ當事者ニ於テ定メタル電信符號等ナリ

「ミョーニチタ濁点イサンチユーカ濁点クコーニヲケルコーエンシヤワ括弧ウルサ括弧シナリ」形象

形象括弧ウルサ括弧シナリ

但シ緊要ナル通信ヲナスタメ特ニ人名地名若ハ物名等ヲ確實ニスル必要アルトキハ之ヲ(括弧)適用スルコトヲ得ルモノトス

(二) 小括弧

片假名信號中ニ萬國船舶信號符字(萬國船舶信號符字トハ萬國船舶信號書中信文ニ對スル信號符字ヲ云フ)ヲ挿入セントスルトキ其前後ニ使用スルモノニシテ起信者小括弧形象ヲ示シ受信者ノ同一形象ヲ示スヲ見タル後チ行フモノニシテ所要ノ形象ヲ挿入シ了ラハ再ヒ小括弧形象ヲ示シ受信者ノ同一形象ヲ示スヲ見テ次ノ信號ニ移ルモノトス

〔例〕「本船ハ明日午前六時「AUGF」ニ向ケ出港ス」

ヲ信號スルニハ「AUGF」ハ萬國船舶信號書ニ依ル各國地理信號符字中桑港(サンフランシスコ)ヲ意味

「ホンセンワミョーチョーコ濁点セ濁点ンロク濁点イウ濁点チ小括弧ホ小括弧ン小括弧セン小括弧ワ小括弧ミ小括弧ョ小括弧ー小括弧チ小括弧ョ小括弧ー小括弧コ小括弧」形象

ニムケシツコース

(ホ) 略語形象

片假名信號ノ前後若ハ中間等ニ於テ略語ヲ使用セントスルニハ略語形象ヲ示シタル後チ其用セントスル略語ヲ挿入シ終テ再ヒ畧語形象ヲ示シ次ノ信號ニ移ルヘキモノトス  
略語トハ交信中數々送信ノ必要ヲ生スル名詞若ハ單句ニシテ之ヲ片假名信號ヲ以テスルトキハ冗長ニ互ルヲ以テ當事者ニ於テ豫メ之等ノ略語ヲ定メタルモノニシテ今左ニ二三略語ヲ假定シ之カ使用例ヲ示ス

意味	略語
汝ハ自己ノ右ニ位置ヲ移セ	ミ
汝ハ自己ノ左ニ位置ヲ移セ	ヒ

汝ハ其位置ニ止マレ	ト
背後ノ見透シヨキ所ニ汝ノ位置ヲ移セ	ウ
今ヨリ送ル信號ヲ順次ニ傳ヘヨ	ツ
今ヨリ送ル信號ハ書キ記セ	カ
今送リシ信號ヲ今一度繰返(ス)セ	イク
校長	コチ
教員	キ
船長	セ
運轉手	ウテ



機關長	キチ
本社	ホ
代理店	タ

(注意) 右表ノ例ニ倣ヒ當事者ハ必要ニ應シ最モ多ク使用スヘキ略語ヲ極メテ了解シ易キ様頭字ノ類ヲ採リテ豫テ規約シ置クヲ要ス  
 略語信號ヲ行フニ某ヨリ某ヘナス信號ハ各其規約略語ノ間ニ「ヨ」ヲ附シ略語形象内ニ挿入シテ行フモノトス例ヘハ「校長ヨリ教員ヘノ信號」ナルトキハ略語形象「コチヨキ」略語形象ト爲スカ如シ又單ニ「某ヨリノ信號」ヲ意味スルモノハ其規約略語ニ「ヨ」ヲ附シ又「某ヘノ信號」ナルトキハ「エ」ヲ附シテ行フモノトス例ヘハ「船長ヨリノ信號」ナルトキハ「セヨ」船長エノ信號「ナルトキハ「セエ」ト爲スカ如シ

右表假定略語中「ヒ」「ミ」「ウ」等ノ略語信號ヲ爲シタルトキハ其終ルト同時ニ兩手(旗)ヲ垂直ニ揚ケ置キ略語信號受信者カ其信號ニ從ヒ已レノ希望スル位置ニ達セントシタルトキ之ヲ振り下シテ受信者其位置ニ止マルヘキコトヲ示スモノトス  
 (例一) 受信者若ハ起信者ニ於テ今ノ位置ヨリ右方ニ位置ヲ移ラシムルコトヲ略語ヲ以テ信號スルニハ

「略語形象ミ略語形象」

(例二) 「颶風來襲ノ虞レアリ荒天準備ヲナセ」ノ信號ヲ順次ニ(二隻以上船泊)

若ハ其他ノ場合ニ(二隻以上船泊)傳ヘシムルニハ

「ク(濁点)フーライシユーノヲソレアリコーテンシ(濁点)ニヒ(濁点)ヲナセ

「略語形象ツ略語形象」

(例三) 「校長ヨリ教員ヘ明朝ノ遠足隊會合所ハ御殿場停車場前ニ改

ム」ナル信號ヲナスニハ

「略語形象コチヨキ略語形象ミヨーチヨ一ノエンソクタイカイコ濁点形象  
一シヨワコ濁点形象テンハ濁点形象テイシヤハ濁点形象ニアラタム」

(へ) 讀点(コンマ)

讀点形象ハ「コンマ」ヲ意味スルモノニシテ數字信號ニ於テ整数ト  
小數トノ區別即チ奇零点ヲ表示スルトキニ使用スルモノトス

〔例一〕「本校四學年級生卒業試験成績ノ最高点ハ九、八五パーセント  
ナリ」ヲ信號スルニハ  
「ホンコーヨシカ濁点形象クネンキユーセイソツキ濁点形象ヨーシケンセイセキ

ノサイコーテムワ數字形象九讀点八五數字形象ナリ」

〔例二〕「富士山ノ絶頂ニアル甲遠足隊ヨリ山腹ニアル同乙隊ニ山頂現  
時ノ晴雨計示度七百六十四五耗」ナルコトヲ信號スルニハ  
「イマセーウケイシト濁点形象數字形象七六〇讀点四五數字形象ナリ」

(註) 第三節ノ諸例ハ皆其一部分ノミヲ示シタルモノナレハ各信號  
ノ始終ニ於ケル起信形象及終信形象等ヲ置クコトハ之ヲ省略セリ

第四節 手旗信號受信法概要

受信法ヲ分テ記憶受信法二人受信法及單獨受信法ノ三種トナスコト左ノ  
如シ

一、記憶受信法ハ一人又ハ二人等ニテ發信者ノ信號ヲ其儘記憶スルカ若  
クハ其一句毎ニ自己又ハ他ノ一人ヲシテ筆記セシムル方法等ヲ云フ  
但シ望遠鏡ヲ要スルトキ受信者一人ナルトキハ先ツ應信形象ヲ示シタ  
ル後チ直ニ眼鏡ヲ執リ二人ナルトキハ其一人ハ信號ヲ讀ミ他ノ一人ハ  
筆記ニ従事ス

二、二人受信法ハ其一人ヲシテ發信者ノ信號ヲ一字若クハ一句讀毎ニ又  
ハ其全部ヲ筆記者ニ達スル程度ノ音調ニ讀ミ他ノ一人ハ筆記ニ従事ス  
ル方法ヲ云フ但シ眼鏡ヲ要スル場合ハ第一項但書ノ要領ニ準ス

三、單獨受信法ハ受信者眼鏡ニ依ラスシテ受信シ得ル巨離ニ於テ發信者ノ送ル信文ヲ凝視シツ、一字毎ニ自ラ筆記受信スル方法ヲ云フ

備考 手旗信號記號記載法

手旗信號ヲ送(受)信セントスルトキ之ヲ其ノ用紙又ハ黑板等ニ記載スルニハ左表ノ記號ヲ以テスルモノトス

記號形象名	記號	用法ノ例	記號形象名	記號	用法ノ例
新章形象	「若ハ」	第一項 第二項 「:」:」等ノ如シ	略語形象	X	XイクX等ノ如シ
數字形象	△	△一三五△又ハ ▽135▽等ノ如シ	讀点(コンマ)	,	△一三、五△又ハ ▽135▽等ノ如シ
括弧	( ) 若ハ ( )	(ウナ)又ハ (マシマ)等ノ如シ	(終點)	。	或ル信號ノ全文ヲ記載 シ終リタルトキ其ノ終尾 ニ附記スルモノトス

小括弧「若ハ」

船舶信號符字ヲ挿入  
スル又ハ全上ヲ横書  
スル等ノ如シ

改正 手旗片假名信號法詳解終

大正三年五月五日第一版印刷  
大正三年五月十日第一版發行

著者 御園生萬吉

橫須賀市沙留五番地

發行者 股野九藏

東京市本所區橫綱町一丁目十七番地

印刷者 股野保

東京市本所區橫綱町一丁目十七番地

印刷所 軍港堂印刷所

海軍御用圖書出版所

軍港堂

橫須賀市元町通沙留(水交社向)  
電話四三七番 振替東京一六五二〇番

復製	不許	所有	著作權
----	----	----	-----

發行所

大正三年五月五日第一版印刷  
大正三年五月十日第一版發行



274

828

終